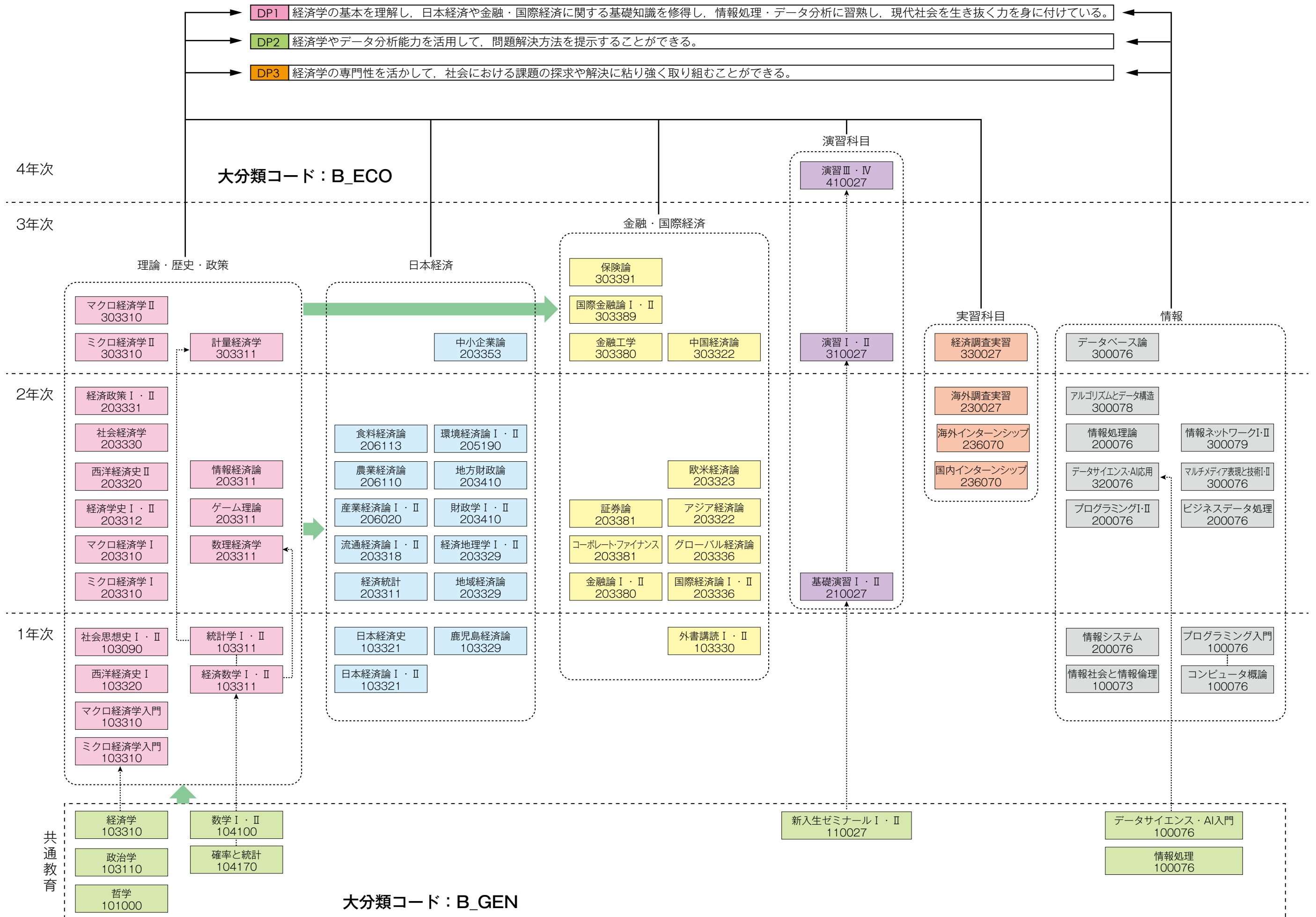
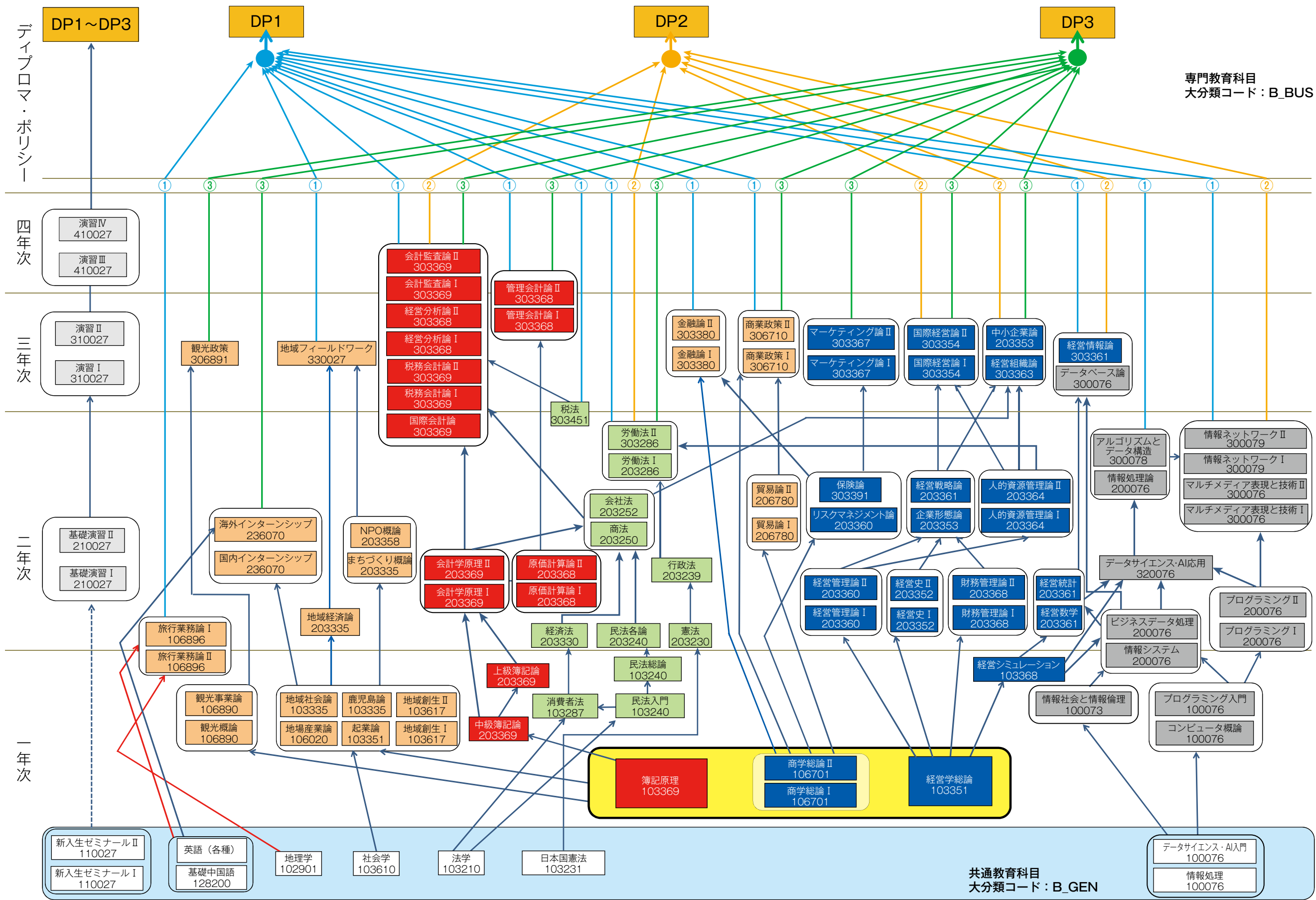


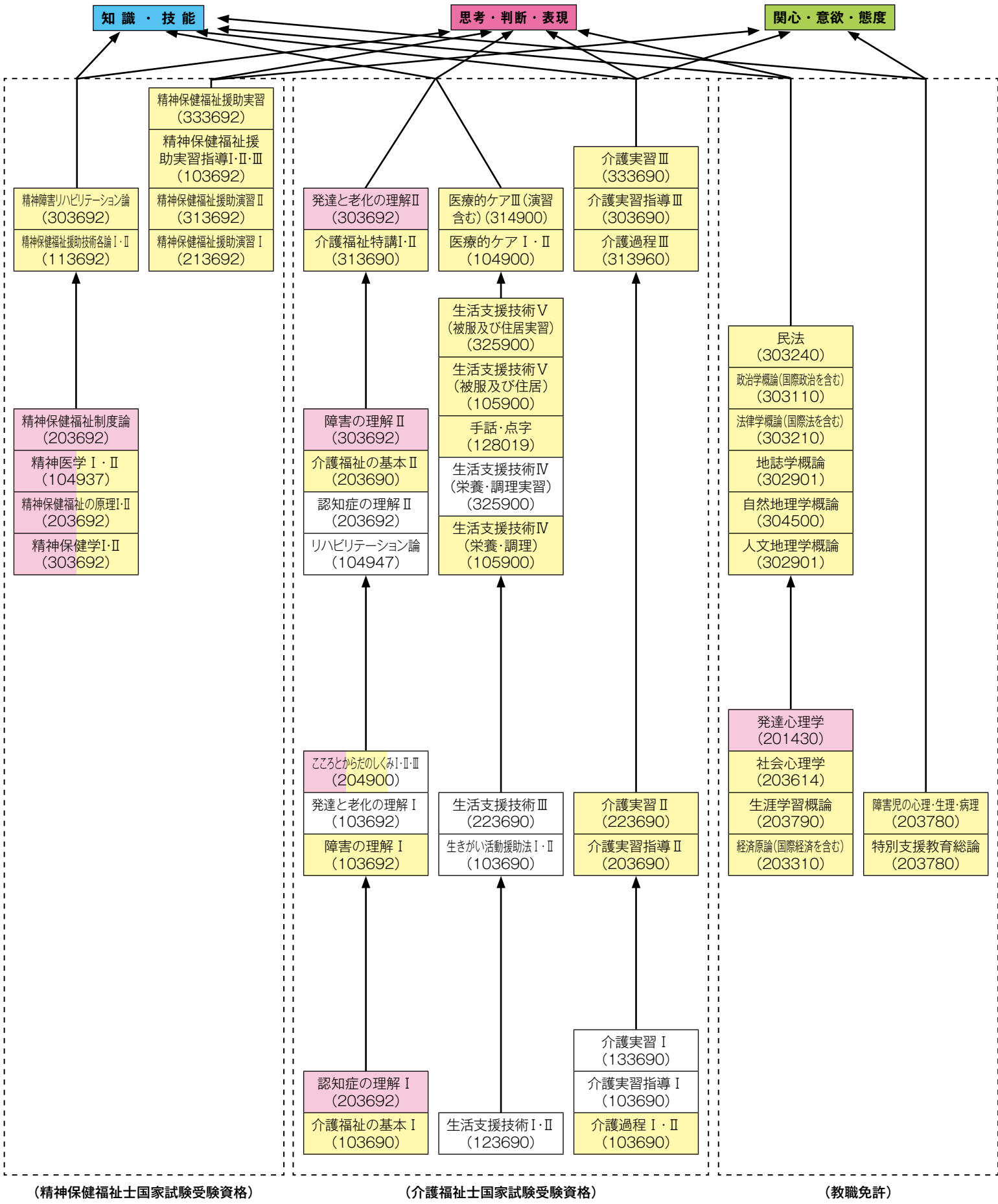
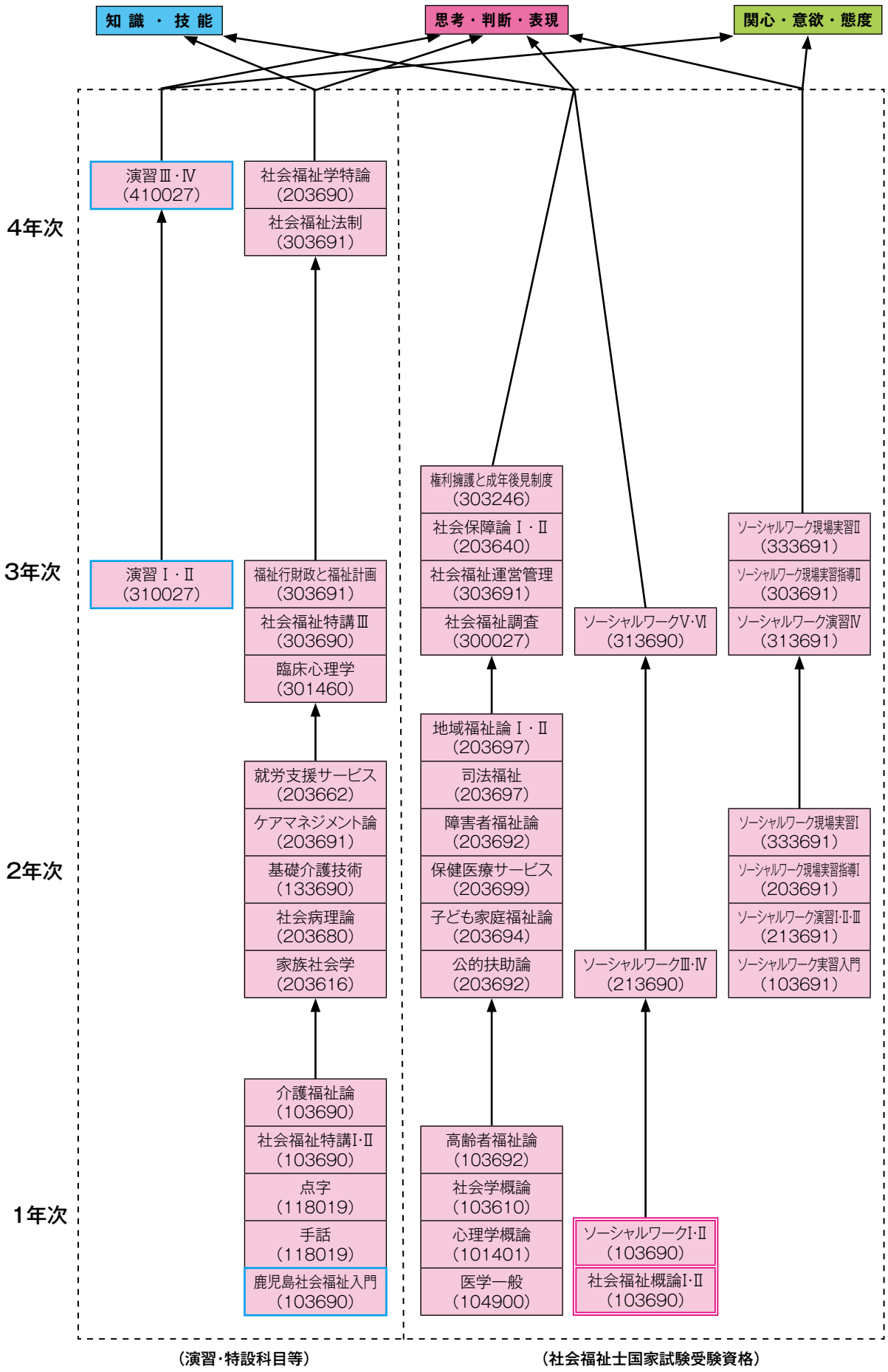
経済学科カリキュラムマップ



経営学科カリキュラムマップ



社会福祉学科カリキュラムマップ



大分類コード: B_WEL

学科基本科目

必修

履修指定

学科発展科目

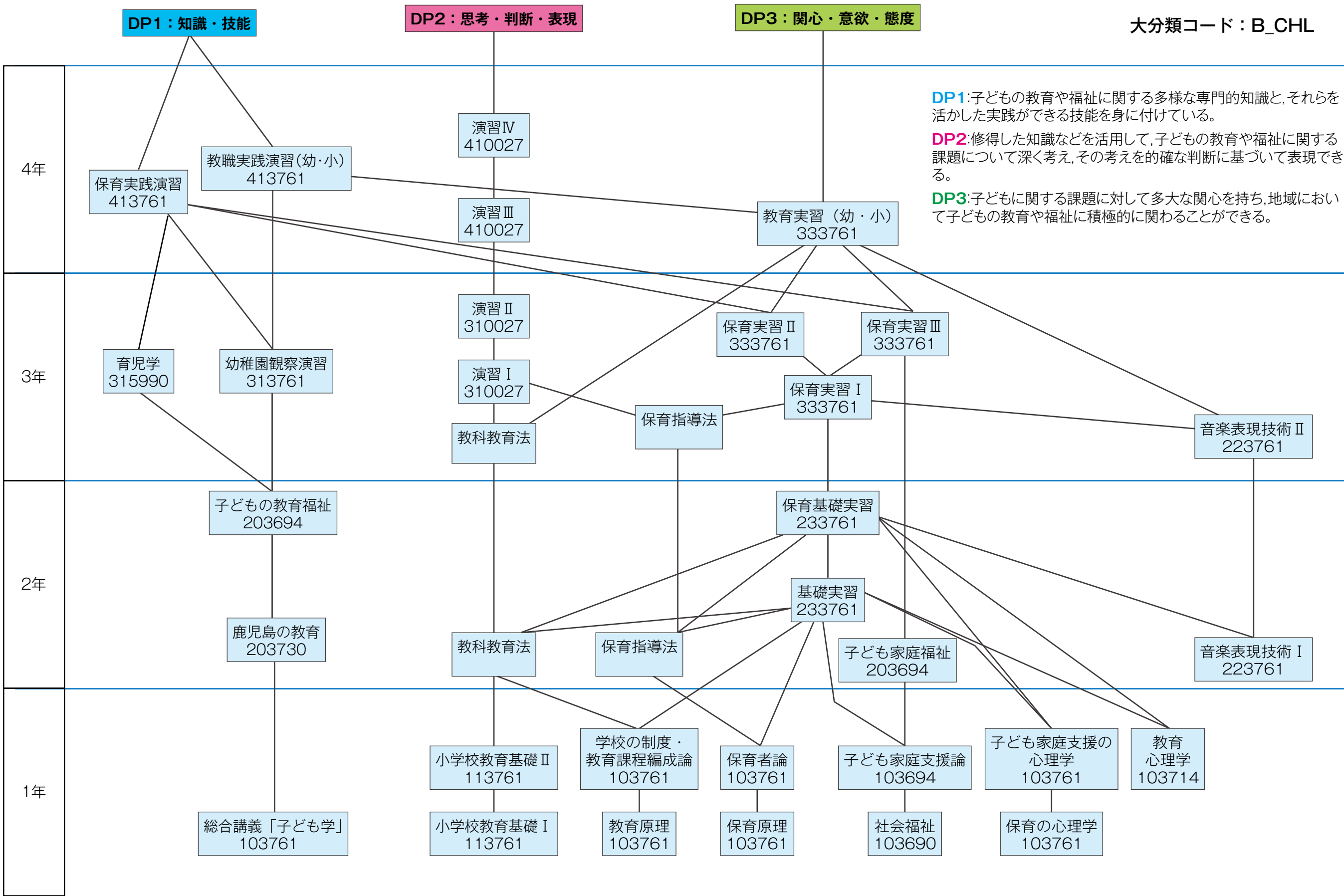
自由科目

社会福祉学科卒業所要単位と関わる科目群

「ダブル資格」と関わる科目群

DP1: 幅広く深い教養と豊かな人間性を持ち、社会福祉の専門的な支援をするために必要な知識と対人支援の技能を修得している。
DP2: 社会的な支援を必要とする人々にとって必要な支援を考え、支援の方策を立案し、適切に説明することができる。
DP3: 地域社会の問題や社会的な支援を必要とする人々に関心を持ち、改善を目指して個人や社会に働きかける意欲を身に付けている。

児童学科カリキュラムマップ



国際文化学科カリキュラムマップ

DP1:異文化理解に必要な自国と他国についての知識と教養を身に付けている。
DP2:修得した知識、能力などを活用して自分の考えを論理的、説得的に述べることができると同時に、他者と対話的に関わることができる。
DP3:国際的な文化交流、地域と自国の文化に関心を持ち、その活性化に積極的に関わることができる。

DP1
知識・技能

DP2
思考・判断・表現

DP3
関心・意欲・態度

共通教育科目

学部基本科目

学科基本科目

コース科目

他コース科目
インターンシップ

スキルアップ
プログラム

大分類 B_GEN

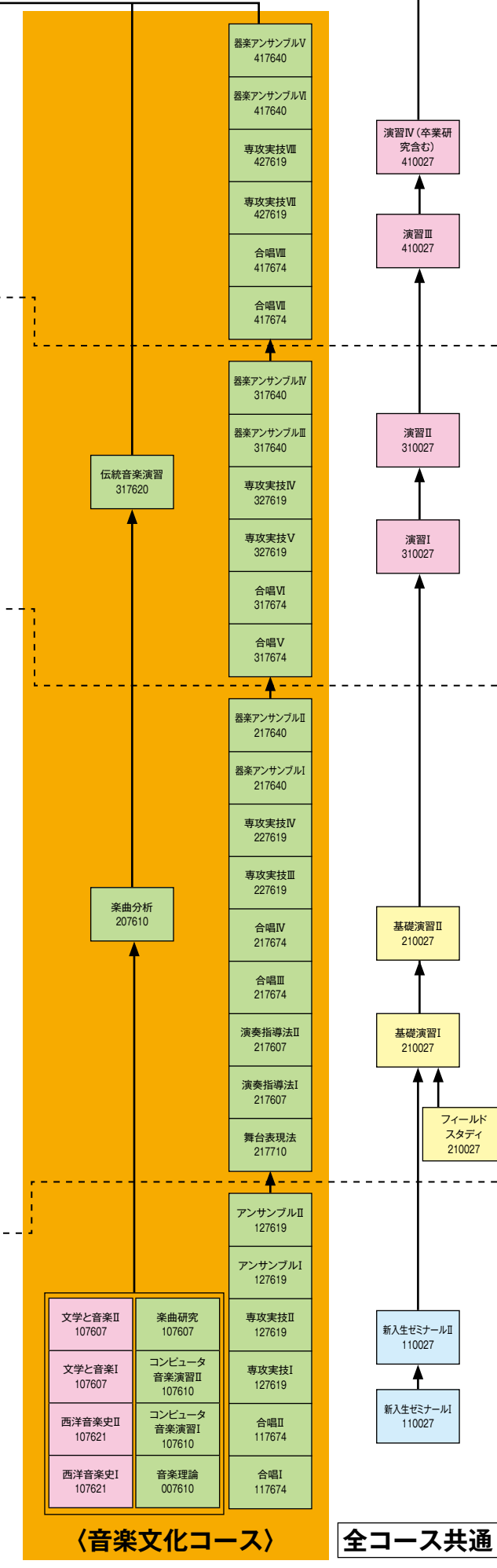
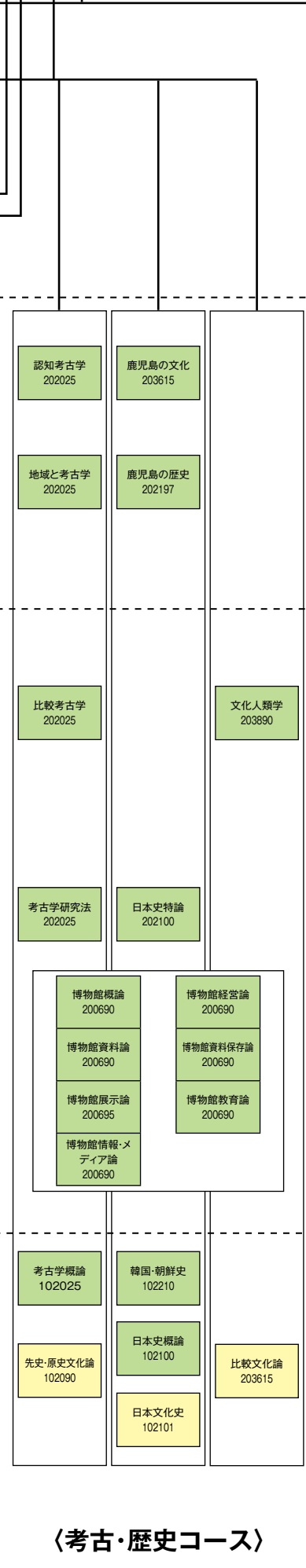
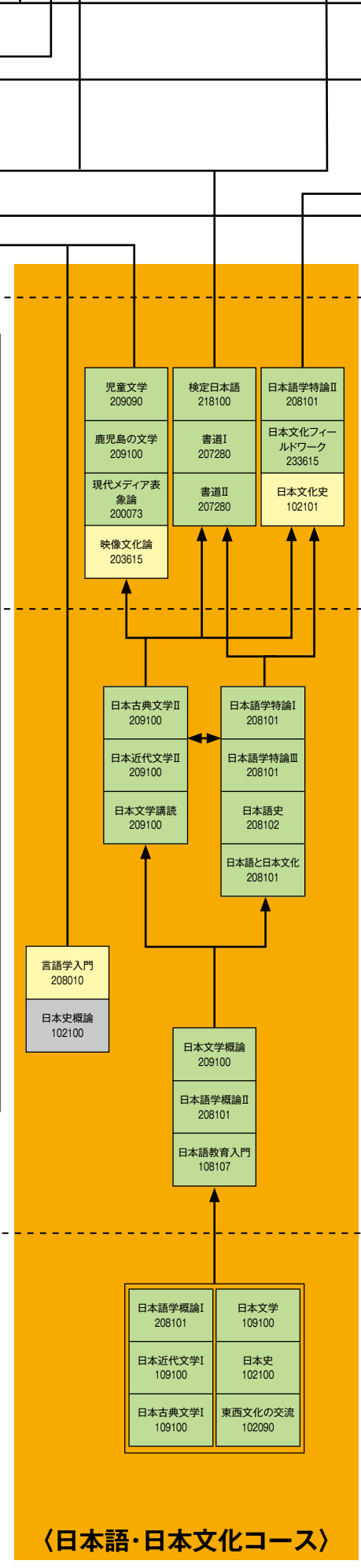
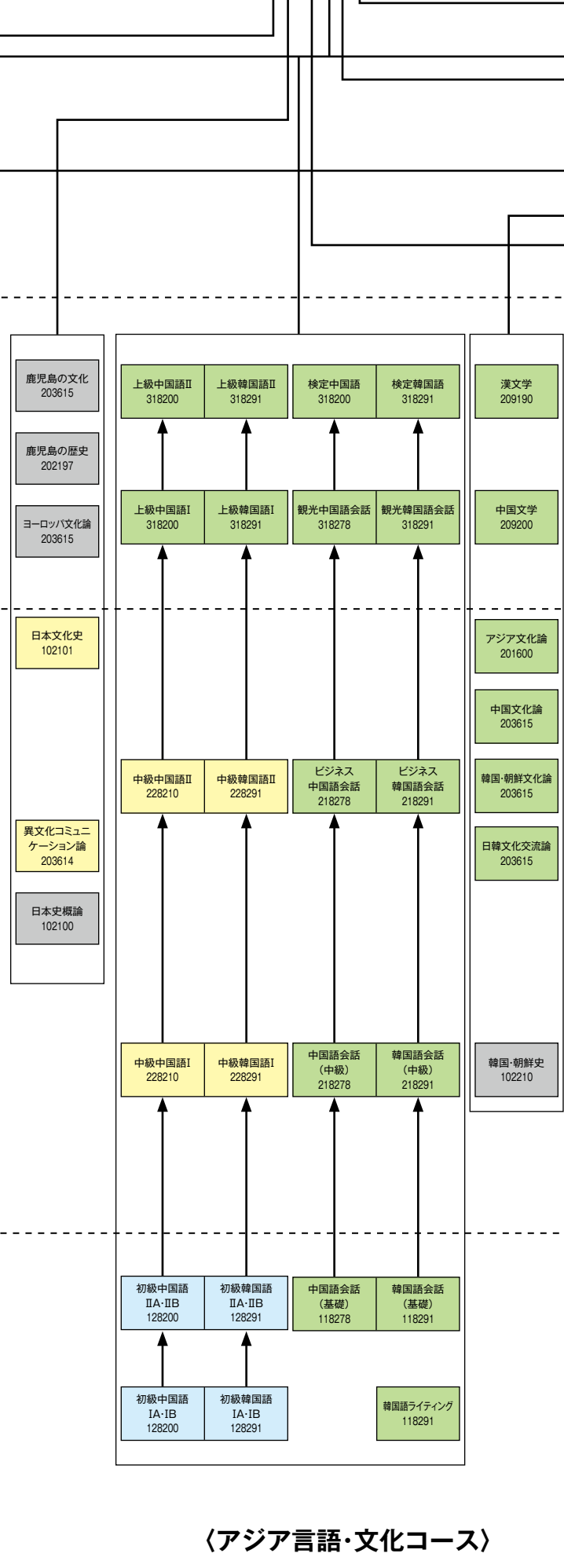
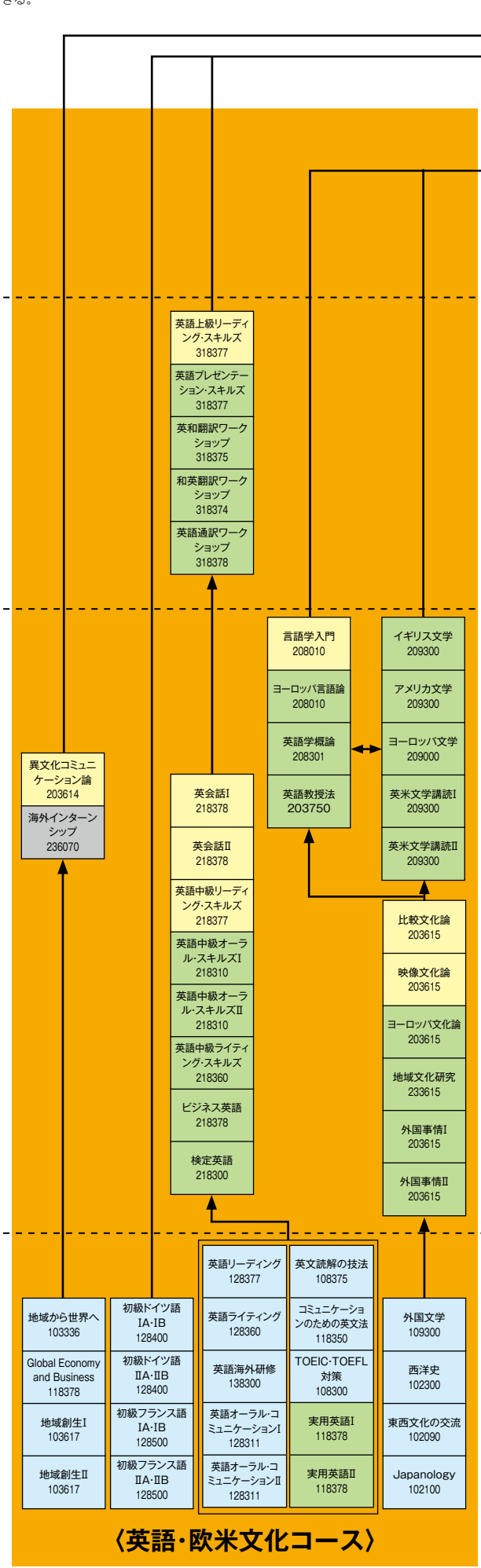
大分類 B_INT

4年次

3年次

2年次

1年次



全コース共通

看護学科カリキュラムマップ

学部横断科目

学修成果評価の重要科目

総合実践能力評価の重要科目

* () は国際看護・保健に関するコマ数を示す

【人材養成像】いのちをとうとび、はぐくみ、つなぐことを基本姿勢とし、人々が地域において健康的な暮らしを営めるように、よりよい健康課題の解決法を探究しつつ取り組むことができる看護職

カリキュラム・ポリシー	主要概念	科目群	1年次		2年次		3年次		4年次		ディプロマ・ポリシー		
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
CP9 初年次から、多文化について学び国際的視野を養うとともに、「暮らし探索フィールドワーク」等により人々の地域での暮らしに関心をもてるようにし、社会に貢献する看護を様々な視点から探究する「卒業研究」に発展できるように構成します。	看護	看護探究科目	共通教育科目 新入生ゼミナール	暮らし探索 フィールドワーク							DP8(関心・意欲・態度) よりよい看護実践に意欲と関心をもち、グローバルな視点を基に探究し続ける姿勢が身についている。	【総合的な看護実践能力】 DP9 その人らしい地域での暮らしを支えることができる。 DP10 生活に密着した予防活動を行うことができる。 DP11 健康課題の解決を手助け、支援することができる。 DP12 生活機能の回復・維持を手助け、支援することができる。 DP13 健康的な生活をチームで支えることができる。 DP14 国際・地域社会のニーズの変化に対応し、生涯を通して自己を高めることができる。	
CP8 実習では、最初に「既修理論・技術」の学習の時間を設けます。また、実習後には、実習内容を整理・統合する「実践と理論の統合」の時間を設け、看護の役割の明確化と自覚を高めるとともに、自身の看護実践を説明可能なものとするように構成します。			共通教育科目(再掲) 【人間教育科目】 日本文学 外国文学 音楽文化論 日本史 西洋史 東洋史 東西文化の交流 地域創生 I・II Japanology 地域から世界へ かごしま医療プログラム かごしまフィールドスクール 海外インターンシップ 【コミュニケーションスキル科目】 英語オール・コミュニケーション I・II 英語海外研修 英語リーディング 英語ライティング 英文読解の技法 Global Economy and Business 基礎中国語 I・II 基礎フランス語 I・II 基礎ドイツ語 I・II 基礎韓国語 I・II 韓国語海外研修	専門基礎科目(再掲) 地域社会論(前) まちづくり概論(前) 地域経済論 環境経済論 I(前) 環境経済論 II 文化人類学(前) 日本史特論 鹿児島県の歴史(前)	看護研究					卒業研究 I	卒業研究 II		
CP7 看護実践能力育成科目群は、保健師と看護師の役割を統合して果たせる実践能力を育成するために、対象の健康レベルを枠組みとして、健康な人を対象とする健康増進看護、健康障害を有する人を対象とする健康回復看護、さらに長期療養を必要とする人を対象とする長期療養生活看護として構成します。また、多職種とのチームケア能力を育むために他学部学生と学ぶ時間を設けた地域包括チームケア論や災害支援論などの発展科目も配置します。				健康増進看護総論 I(再掲) * (2)	健康増進ケア論 I(再掲) * (1)	健康増進ケア論 III(再掲) * (2) 健康増進ケア論 IV(再掲) * (2)				看護キャリア発達論 * (4)			
CP6 「生活機能援助論」は、基礎看護技術と専門領域の技術を統合して教授します。そして、対象の健康状態や出現症状を適切にアセスメントし、援助技術を考案・実施・評価することにより、どのような場においても対象に必要な援助を自ら判断し提供できる看護実践能力を育む構成とします。						成人健康回復ケア論 I 成人健康回復ケア論 老年健康回復ケア論 精神・在宅健康回復ケア論 在宅健康回復ケア論	成人健康回復ケア論 II 成人健康回復ケア論 老年健康回復ケア論 精神健康回復ケア論 在宅健康回復ケア論	<DP4・5・6・7>		地域包括チームケア論 災害支援論 長期療養生活看護総論 長期療養生活ケア論	看護管理論 <DP11・12・13> 長期療養生活ケア論実習		看護統合演習
CP5 初年次から、「生活機能援助論」を開講し、看護への関心を専門職としての知識・スキル・態度の修得に方向づけ、主体的な学習態度を修得できるように配置します。						健康回復看護総論 健康回復看護総論実習	健康増進看護総論 I 地域保健 II 成人保健 III 成人老年保健 IV 精神保健	健康増進ケア論 I 地域保健看護活動の基礎 II 対象の発達段階に応じた地域看護活動 III 健康課題の特性に応じた地域看護活動 IV 学校・産業保健活動					健康増進ケア論発展実習
CP4 学生が看護職としての専門性を築きつつ、着実に看護実践能力を修得できるように、学生の意欲・関心を起点とし、それらを拡大発展できるように授業科目を配置します。	健康	看護実践コア科目									DP7(関心・意欲・態度) 地域包括ケアチームにおいて保健師と看護師の役割を統合した看護の専門性を発揮し、協働できる能力が身についている。 DP6(関心・意欲・態度) 対象の尊厳を護る態度が身についている。 DP5(思考・判断・表現) 対象の健康課題を解決する能力が身についている。 DP4(思考・判断・表現) 対象から信頼される関係を築くことができる。 DP3(思考・判断・表現) 様々な健康レベルにある対象の生活・健康状態を根拠に基づいて判断する能力が身についている。 DP2(知識・技能) 対象を地域で暮らし人として全人的にとらえて説明できる。 DP1(知識・技能) いのちについて多角的にとらえ検討して説明できる。		
CP3 1～2年次には、キャリア教育を含む幅広い総合的な内容からなる共通教育科目とともに、主要概念に基づく看護構想科目群を主体的に学び、豊かな人間性を有する自覚した医療人としての基礎を育む構成とします。						生活機能援助論 I: 安全をまもる機能 II: 生きるを支える機能 III: 食物・水分摂取を支える機能 IV: 排便・排泄を支える機能 V: 動くを支える機能 VI: 休むと情報交換を支える機能 VII: 子どもを産み育てることを支える機能 VIII: 救命救急・診療の補助 IX: 在宅展開・事例展開							
CP2 全開設科目を、看護構想、看護実践コア、看護実践能力育成、看護探究の科目群に分類し、体系的に構成します。						看護学概論 援助関係論							
CP1 人材養成像を基に、保健師と看護師の役割を統合して果たせる看護職を養成するためのカリキュラムの主要概念を「いのち」「人間」「暮らし」「健康」「看護」とし、教育科目を設定します。						看護への招待	いのちと看護	人間と看護	暮らしと看護	健康と看護			
						専門基礎科目							
	暮らし	看護構想科目	からだの仕組みと働き I	からだの仕組みと働き II 代謝と栄養 からだの調音と発生メカニズム 感覚と防衛 からだの異常の診断技術 働く人の健康	薬理学 保健統計学 疫学 健康をまもる法律 保健医療福祉行政論 健康障害とその治療 I 健康障害とその治療 II 健康障害とその治療 III	健康障害とその治療 IV							
共通教育科目 【スポーツ・健康科目】 講義(2) 現代社会とスポーツ 等 実習(6) スポーツ実習 I～V 【基礎科目】 数値・データサイエンス・AI(3) 情報処理等 キャリアデザイン(2) 論理的思考と数的処理等 【人間教育科目】 社会科学(6) 日本国憲法 等 自然科学(2) 数学 I・II 地域志向(8) 地域から世界へ 等			地域社会論(前) まちづくり概論(前) 地域経済論 環境経済論 I(前) 環境経済論 II		医療情報活用論 暮らしをまもる制度								
【基礎科目】キャリアデザイン(5) コミュニケーション力育成 等 【人間教育科目】人文科学(10) 日本文学 等 【人間教育科目】地域志向(3) 地域創生 I・II 等 【コミュニケーションスキル科目】英語(9) 英語オール・コミュニケーション I・II 等 【コミュニケーションスキル科目】第二外国語(9) 基礎中国語 I・II 等 【人間教育科目】自然科学(2) 生命科学 環境科学			教育方法学(前) 文化人類学(前) 社会心理学 日本史特論 鹿児島県の歴史(前)	生涯発達論									
いのちをはぐくむ地球			地球で生きるいのち										
アドミッション・ポリシー			(知識・技能) AP1 看護学を学ぶ上で必要な基礎学力及び対人関係能力を有する人。				(思考力・判断力・表現力) AP2 身近な問題を多角的・論理的に考え、説明できる人。 AP3 自身の体験したことを振り返り、他者が理解できるように説明できる人。				(関心・意欲・態度) AP4 いのちをとうとび、はぐくみ、つなぐことに関心をもち、これを専門的に学ぶことに意欲のある人。 AP5 看護に必要な知識、スキル、態度を身につけることに熱心で、それらを発展させる意欲のある人。 AP6 地域に愛着をもち、地域のよりよい医療看護の発展に貢献したい意欲のある人。		